

**員 数
議 定**

実質は3名増！

小林正明議員は、3月議会で議会運営委員会が提案した議員定数条例に対して「何もしなければ、46名に戻るはず」なのに「なぜ3名増員するのか？市民の理解が得られない」と反対しました。詳しい議論の内容は、議会のホームページ、議事録をご覧ください。

何もしなければ

46名

3名増に反対

合併特例法により、旧津久井分が6名加算され、定数は52名になっていました。3月議会で条例が可決され、来春の選挙から49名となりました。（緑区12人、中央区18人、南区19人）

（人）

一見、52名から49名に削減したように見えますが、何もしなければ、本来の定数の46名に戻るはずでした。ですから、今回の条例は敢えて議員を3名増やすことを目的とした、議員特有の自己保身的「お手盛り」です。

小林正明議員は、この提案に反対しました。世界同時不況下、血の出るような努力を強いられる民間企業や、生活を直撃されている市民からは、絶対に理解されないと考えたからです。

議会が

行革の先頭に

小林正明議員は、単なる福祉切り捨てや予算削減ではなく、新たな社会環境の変化に対する「政策転換を本質」とする市民本位の真の行政改革を目指します。

議会が行政改革の聖域

議会を

政策論争の場に

であってはならず、議会こそが行政改革の先頭に立つべきです。

棒読み会から

1問1答式へ

議会を政策論争を深める場とするには、日頃の自己研鑽と論理的・説得力ある議論の展開が求められます。

事前調整・事前回答による“出来レース”であつたり、原稿の“棒読み”では、議論に緊迫感が生まれず、議会が傍聴したり、インターネットでご覧になっている市民にも失礼です。

議員や議会、行政の質の向上の為には、馴れあ

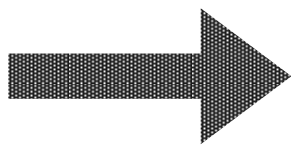
いや癒着を排した議論が必要で、議員にとって議論こそが行政監視の武器です。1問1答方式を実現させ、退屈な形式的問答から脱却し、政令市にふさわしい議会にしたいものです。

合併特例

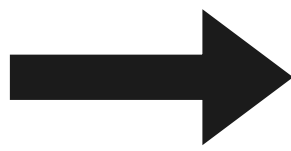
何もしなければ

条例

52名



46名



49名

相模原市議会議員 (無所属)

小林正明 議会報告

補助率

格差是正を！

市長答弁 県に要望する

相模原市は、4月から政令市になり、県から多数の仕事が移されましたが、市民が負担する県民税は今まで通り、他の市町村と同じ負担をしなければなりません。

そこで、**小林正明議員**は、9月議会で加山市長に対し、「県民税に関する不公平」を解消するように求めました。

県民税

年300億円

最大補助金格差

3億4400万円

小林正明議員は、次のように主張しました。

政令市の財政悪化要因は、県から市に多くの仕事に移されたのに、そのために必要な財源が県から移されていないことにあるのではないかと？

市民が県に納める県民税は、年間300億円です。県民税の負担が政令市に移行前と移行後で変わらないため、市は「支出が増える」のに「収入が増えない」からではないか？移行が政令市の財政悪化の原因と指摘しました。それに対し、市長は「県に要望する」と答弁しました。

神奈川県は、市町村に補助金を交付していますが、政令市・中核市・他の市町村によって下表のように差を設けています。

市の格によって、県からの補助金にこれほどの格差が生じるのです。

本市は要望せず

横浜市や川崎市は、県に対し毎年「政令市の格差是正」を重点要望しています。

しかし、相模原市は、なぜか平成23年度の予算編成要望書の中でも、全く触れておりません。

県の補助率の比較表

	その他市町村	中核市	政令市
小児医療費助成	33%	33%	25%
外国籍高齢者等福祉給付金	50%	33%	0%
ひとり親家庭等医療費助成	50%	33%	33%
重度障害者医療費助成	50%	33%	33%

政令市・中核市格差による影響額（平成22年度予算）

(1) 政令市移行による影響額

①小児医療費助成

補助率は33%から25%となり県からの助成金は**約8600万円減額**になります。

②外国籍高齢者等福祉給付金

補助率は33%から0%となり県からの助成金は**約200万円減額**になります。

(2) 政令市・中核市による影響額

①ひとり親家庭等医療費助成・重度障害者医療費助成

補助率は50%から33%となり県からの助成金は**約2億5600万円減額**になります。

◎政令市・中核市格差が解消されれば、**計3億4400万円の補助金**が入ります。

県議と連携を

そこで、**小林正明議員**は県議会において3政令市選出議員が過半を占める有利な状況を背景に、県議と連携して、早期の改善を目指すべきと主張しました。

市政の要望等は

小林正明 市議へ

〒252-0101 相模原市緑区町屋4-16-9

tel 782-5969 fax 785-5144

Eメール masaaki@kuh.biglobe.ne.jp

ホームページは

小林正明市議

検索



ズバリ発言

これから